

**自分で作って食べる！
稲刈り体験が
行われました**



9月14日、生産者と消費者が一緒になって、米の田植えから稲刈りまでを体験してもらおうと、市農業公社主催の「稲刈り体験」が行われました。参加された方は、今年5月に田植え体験をされた方々で、自分たちの植えた稲が成長したことを喜び、手作業で丁寧に取り取りました。今回収穫したお米は、脱穀・乾燥・精米をした後、参加者へ配付されることになっており、参加者は「田植えも稲刈りも初めての体験で楽しかった。お米が手元に届くのが楽しみです。」と話していました。

**声で聴く広報紙を
音訳ボランティア
「こだま」がCDを配布**



市では音訳ボランティア「こだま」の協力を得てより多くの方に知ってもらうため、市内の視覚障がい者で身体障害者手帳1・2級保持者の方約50名に、広報のデイジー（視覚障がいなどの方のためのデジタル録音図書）版音訳CDサンプルを送付しました。申し込みがあった利用者には無償で音訳物のCDやカセットテープを送付しています。代表の久野さんは「より多くの方に広報デイジー版の存在を知ってもらいたい」と、利用者拡大に期待を寄せていました。

■利用申し込み
下野市社会福祉協議会
☎(43)1236

**安全運転の大切さを再確認
シルバードライビング
スクール開催**



交通事故を疑似体験

9月27日、小金井自動車教習所において、シルバードライビングスクールを開催しました。今回のシルバードライビングスクールは、秋の交通安全県民総ぐるみ運動における事業の一環として行われたもので、学科試験や実技走行試験のほか、シミュレーターを用いて、交通事故のシミュレーション体験も行いました。参加者の方々は、講習を通じて初心にかえり、安全運転の大切さについて再確認しました。

**栃木県理容生活
衛生同業組合が
ボランティア活動**



10月4日、栃木県理容生活衛生同業者組合が9月17日に社会貢献を目的に実施した清掃ボランティアと献血について、市長に報告するため市役所を訪れました。清掃活動は青年部会員約80名が古山小学校周辺、文教通り、姿川長田橋周辺や壬生地区などを1日かけて清掃しました。また赤十字献血車による献血を実施し、41名の参加がありました。

**トウサワトラノオ
保存地の
草刈りについて**



9月8日、東根自治会が主催するトウサワトラノオ保全地の第2回草刈り作業が、小山北桜高等学校・トウサワトラノオ保存会・下野市自然に親しむ会・南河内土地改良区・栃木県下都賀農業振興事務所の協力により行われました。早朝より草刈り作業を開始し、小雨の降る蒸し暑い天候の中、半日をかけて保全地をきれいにしました。この草刈り作業により、雑草の成育を抑制し、トウサワトラノオが成長しやすい環境づくりをすることができそうです。草刈り作業は年内にあと1回実施予定です。